九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[014]学生法政論集表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/2800466

出版情報：学生法政論集. 14, 2020-03-23. 九州大学法政学会
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

編集後記

論文を書くことは、調べて、考えて、根拠を示しつつ論理的な構造をもった長文を書くという点で、汎用性があり、学生のみなさんには、今後、どのような進路をとろうとも、貴重な経験になると思います。指導していただいた先生方、審査にあたってくださった先生方、ありがとうございました。（爺）

応募頂いた皆様、有り難うございました。力作揃いで、大変興味深く拝読いたしました。いざ論文を執筆する段になると、文章で自分の意図を正確に伝えることがいかに難しいか、身をもって感じられたことでしょう。これからもいろいろな文章を書く機会があると思いますが、この経験はきっと活きてくるはずです。今後ますますのご活躍を祈念しております。（ＴＫ）

寄稿された学生の皆さん、ご苦労様でした。論文の数はけっして多いとはいえませんが、寄稿されたものは、いずれも素晴らしい出来であったと思います。ただ、民事法分野からの寄稿がなかったことが、残念でなりません。民事法のゼミに所属する学生の皆さん、是非、来年はチャレンジしてみませんか。期待しております。（ＫＴ）

今回は応募論文が 4 本と若干少なめでしたが、すべての論文が掲載を認められました。学生時代の柔らかい頭で色々なことを考えながら物を書くという作業は、それ自体がとても貴重な経験だと思います。今回果敢に応募した皆さんは、この経験を活かして、どうかさらに飛躍してください。そして、来年度も、意欲あるチャレンジをお待ちしています。（Ａ．Ｅ）

第三者が目にする論文を書くということは、おそらく初めての経験だったのではないかと思います。これだけ情報があふれる社会で、悩み苦しみながら考え、専門家の目に耐えうる体裁に整えて批判を受ける、ということはきっとこれからの人生において大きな糧になったことでしょう。本誌が皆さんの活躍のきっかけになれば幸いです。（ＫＭ）

皆さんの論文の視点が、素直な関心から出発していることが伝わってきて、興味深く拝読いたしました。論じていく過程は、思考の過程でもあります。いかに明確に伝わるように論じていくか何度も書いているうちに学んでいくことが多いと思います。皆さんの今後のご活躍を期待しています。（ＳＶＵ）

『学生法政論集』第15号（2021年 3 月発行予定）の募集につきましては、「九州大学法政学会ホームページ」および「九州大学法学部ホームページ」にてお知らせします（ 6 月下旬予定）。